



HOME > イベント > 講演会2020年実績

○講演会

講演会2020年実績

日程	テーマ／講師
1月15日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">アクティビストが社外取締役に望むこと</a> 』 丸木 強 氏 ストラテジックキャピタル 代表取締役
2月19日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">社外役員がモニタリングするリスク管理体制の最新実務</a> ～ <a href="#">発見統制、3線ディフェンス、リスクマップ、グループ内部統制など</a> ～』 竹内 朗 氏 プロアクト法律事務所 弁護士／公認不正検査士
7月15日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">「日産ゴーン事件」とコーポレートガバナンス</a> 』 井上 久男 氏 経済ジャーナリスト
8月20日(木) 16:00～17:30	『 <a href="#">改正外為法を受けての近時の実務動向と課題</a> 』 神保 寛子 氏 弁護士／西村あさひ法律事務所 パートナー
9月16日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">インデックスの議論から見る企業経営</a> 』 川北 英隆 氏 京都大学大学院経営管理研究部特任教授
9月29日(火) 15:00～16:30	『 <a href="#">コーポレート・ガバナンスの進展に伴う取締役会事務局の深化—独立社外取締役の支援という観点から—</a> 』 富永 誠一 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 事務局長
10月2日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">前例なき変革への挑戦</a> 』 磯崎 功典 氏 キリンホールディングス代表取締役社長
10月21日(水) 15:00～17:00	『 <a href="#">監査役事件簿—勇気と覚悟</a> 』 眞田 宗興 氏 監査懇話会 顧問
11月9日(月) 16:00～17:30	『 <a href="#">我が国のコーポレート・ガバナンスの課題:金融監督・証券市場監視・監査法人監督・金融分野のDXの経験を通じて</a> 』 佐々木 清隆 氏 元金融庁総合政策局長 一橋大学大学院経営管理研究科客員教授
11月16日(月) 16:00～17:30	『 <a href="#">ソニーの経営とコーポレートガバナンスの進化について</a> 』 神戸 司郎 氏 ソニー 執行役 専務 法務、コンプライアンス、広報、サステナビリティ、渉外、品質、情報セキュリティ、プライバシー担当
12月16日(水) 15:00～16:30	『 <a href="#">2021年への視座—コロナを超えて、日本の針路</a> 』 寺島 実郎 氏 一般財団法人日本総合研究所 会長、多摩大学学長



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME

イベント

ニュース

独立社外取締役導入支援

刊行物

入会案内

CG ネットについて

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『アクティビストが社外取締役に望むこと』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『アクティビストが社外取締役に望むこと』

日時	2020年1月15日(水) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
出演者	丸木 強 氏 (ストラテジックキャピタル 代表取締役)

#### ■ 概要

ストラテジックキャピタルは、投資運用会社として顧客の資産を預かり、日本の上場株式に投資しています。そして、運用方針は「アクティビスト」と呼ばれる、株主として投資先企業の経営陣に働きかけ株主価値の向上を目指すものです。

当社は、投資先の代表取締役、財務担当取締役のみならず、社外取締役に面談を求めます。その主たる目的は、株主総会において当該社外取締役候補の選任に関する賛否を判断するためです。また、少数株主として、その考え方や会社への要望などを社外取締役に伝え、意見交換を行う機会とも捉えています。

講演では、アクティビストである当社が、社外取締役に對して尋ねる質問や意見交換のテーマ等についてご紹介します。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎丸木 強(まるき・つよし)  
ストラテジックキャピタル 代表取締役

1982年東京大学法学部卒。

野村證券株式会社入社後、主に日本企業や政府関係機関の資金調達案件の引受、大型民営化企業のIPO、邦銀への資金注入に際しての政府関係機関のアドバイザー、米国企業の日本の上場子会社に対する公開買付代理人などの業務を担当。

1999年、株式会社M&Aコンサルティング(後のMACアセットマネジメント)の創業メンバーの一人として、日本初となるアクティビストファンドの運用に従事。

2012年に株式会社ストラテジックキャピタルを設立、代表取締役に就任。同年12月からアクティビスト戦略のファンド運用を開始。

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『社外役員がモニタリングするリスク管理体制の最新実務～発見統制、3線ディフェンス、リスクマップ、グループ内部統制など～』

[→イベントトップ](#)

## ○ 講演会

### 『社外役員がモニタリングするリスク管理体制の最新実務 ～発見統制、3線ディフェンス、リスクマップ、グループ内部統制など～』

日時	2020年2月19日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
出演者	竹内 朗 氏 (プロアクト法律事務所 弁護士/公認不正検査士)

#### ■ 概要

社外役員の方々にとって、大きな関心事の一つであり、またモニタリングの対象となるのは、自社の「リスク管理体制」の整備状況であり、具体的には、同業他社と比べて遜色ない体制が整備できているのか、重大なリスク要因について十分な統制が効いているのか、もしリスクが現実化して会社に重大な損害が生じたら自分は善管注意義務違反に問われるのか、といったことであろうと思われ、これらの点については、漠然とした不安を抱えていらっしゃるのではないかと考えられます。

本講では、内部統制のフレームワークやベスト・プラクティスに関する最新の實務状況をふんだんに紹介し、目指すべき水準(To Be)のイメージを「具体化」していただきます。これにより、自社の体制のどこが足りないのか、どこをどのように強化すれば十分なリスク管理体制になるのかのイメージが「具体化」され、漠然とした不安は解消されます。あとは「実行」あるのみです。

社外役員の方々をはじめ、経営トップ、リスク管理担当役員、監査役等の方々にもご聴講をお勧めいたします。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎竹内 朗(たけうち・あきら)

プロアクト法律事務所 弁護士/公認不正検査士

1990年早稲田大学法学部卒、1996年弁護士登録、  
2001年日興コーポリアル証券(株)(現SMBC日興証券(株))法務部勤務、  
2006年国広総合法律事務所パートナー、2010年プロアクト法律事務所開設

専門は、企業のリスクマネジメント、不祥事対応・有事の危機管理、平時のリスク管理体制強化(コンプライアンス)、会社法(ガバナンス)、  
金融商品取引法、反社会的勢力排除、独占禁止法など

(株)No.1社外監査役(東証JASDAQ)、  
(株)エコスタイル社外取締役、(株)マイナビ社外取締役

※月刊監査役に不定期連載「企業不祥事の事例分析」

2016年7月「東芝不正会計問題」、10月「東洋ゴム工業免震ゴム偽装問題」、

2017年1月「三菱自動車燃費不正問題」、7月「DeNAキュレーション事業問題」、10月「富士ゼロックス不正会計問題」、

2018年1月「みずほ銀行反社会的勢力向け融資問題」、4月「日産自動車無資格完成検査問題」、7月号「神戸製鋼所検査データ改ざん問題」

※2018年12月に日本経済新聞社が発表した第14回「企業法務・弁護士調査」で、企業が選ぶ弁護士ランキングの「危機管理分野」で第6位に選出



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『「日産ゴーン事件」とコーポレートガバナンス』

## ○ 講演会(オンライン+来場)

[→イベントトップ](#)

### 『「日産ゴーン事件」とコーポレートガバナンス』

日時	2020年7月15日(水) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
出演者	井上 久男 氏 (経済ジャーナリスト)

#### ■ 概要

日産自動車前会長のカルロス・ゴーン被告による特別背任などの事件の根底には、同社のコーポレートガバナンスの不全がある。ゴーン被告は、日本人側近役員たちを巧みに操りながら一見合法的に独裁体制を作り上げた。不正の温床となったペーパーカンパニーの設立は経営会議での承認も取っている。特別背任容疑で取りざたされた「CEOリザーブ」にも、「バリデーター」と呼ばれる一見中立的な第三者が確認する仕組みも導入されていた。ゴーン被告は表面上、会議での合意や第三者によるチェックを重視していたが、同時にそれを骨抜きにするテクニックも抜群だった。こうした「ゴーン流経営」の変遷を、1999年の来日から05年頃までの「変革期」、06年~13年頃までの「躓き期」、14年以降の「変質期」の3つのフェーズに分けて見ていく。さらに、ゴーン被告追放後の日産では西川廣人前社長が「不正報酬」問題で退任に追い込まれるなど依然としてコーポレートガバナンスが揺れている。日産は、外部の視点による監視を強めようと、19年6月以降、指名委員会等設置会社に移行し、社外取締役が過半を占める体制に改めたが、これもほとんど機能していないばかりか、むしろ弊害をもたらしている。その現状についても解説する。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎井上 久男(いのうえ・ひさお)  
経済ジャーナリスト

1964年生まれ。88年九州大卒。NECを経て92年朝日新聞社に入社。名古屋、東京、大阪の経済部で自動車や電機などを担当。2004年に独立してフリーに。05年大阪市立大大学院創造都市研究科(修士課程)修了、10年同研究科博士課程単位取得退学。主な著書に『自動車会社が消える日』『日産vs.ゴーン支配と暗闘の20年』(ともに文春新書)、『メイドインジャパン驕りの代償』(NHK出版)。

#### ■ 参加形態

参加形態	
CGネット会議室での聴講	ソーシャルディスタンスを確保するため、定員は12人といたします。つきましては先着順での受け付けとなります。また、感染状況等から政府や東京都の方針に基づき、会場での聴講を中止する場合がございます。予めご承知おきください。
Zoomを利用したオンラインによる同時聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『改正外為法を受けての近時の実務動向と課題』

## ○ 講演会(オンライン)

[→イベントトップ](#)

### 『改正外為法を受けての近時の実務動向と課題』

日時	2020年8月20日(木) 16:00~17:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	神保 寛子 氏 (弁護士/西村あさひ法律事務所 パートナー)

#### ■ 概要

対内直接投資等の審査制度に関する改正外為法が、2020年6月から本格的に適用開始されています。本改正では、上場会社株式の取得に関する事前届出の閾値を下げると共に免除制度が導入されたほか、外国投資家とその関係者を役員として選任することを会社に求めるような場合にも新たに事前届出を要求して審査対象としています。

本講演会では、改正外為法の概要をご説明した上で、今年の総会シーズンにおける外国投資家の行動も踏まえ、改正外為法を受けて外国投資家による対日投資にどのような影響が生じているか、その実務動向と今後の課題について検討して参ります。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎神保 寛子(じんぼ・ひろこ)  
弁護士/西村あさひ法律事務所 パートナー

2000年東京大学法学部卒業後、(株)東芝法務部勤務を経て2006年弁護士登録。2009年外資系金融機関の持株会社へ出向。2012年デューク大学ロースクール卒業(LL.M.)、2012-2013年ニューヨークのモリソン・フォスター法律事務所勤務、2013年ニューヨーク州弁護士登録。2019年~財務省関税・外国為替等審議会委員。国内外の企業のM&A、JV、戦略的提携取引に多数関与する他、コーポレートガバナンス、危機管理対応等企業法務全般を手掛ける。技術や知的財産が重要な業態に強みを有し、安全保障と投資規制等にも注力している。

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『インデックスの議論から見る企業経営』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『インデックスの議論から見る企業経営』

日時	2020年9月16日(水) 16:00~17:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	川北 英隆 氏 (京都大学大学院経営管理研究部特任教授)

#### ■ 概要

金融庁はスチュワードシップ・コードとコーポレートガバナンス・コードを制定し、さらに株式市場の構造改革やインデックス(東証株価指数)の改革にも着手した。背景には、企業に対して持続的な成長を促し、日本経済全体に活力を取り戻したいとの意識がある。それでは、日本企業の現状はどうなのか。ガバナンスの効いた経営がなされているのか。事業利益率が資本コストを上回ると期待できるのか。昨年12月に公表された株式市場の構造改革案は機能するのか。昨今目立つ敵対的企業買収は何を示唆しているのか。これらを中心に議論してみたい。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎川北 英隆(かわきた・ひでたか)

京都大学大学院経営管理研究部特任教授

1974年京都大学経済学部卒業、09年京都大学博士(経済学)。日本生命保険入社後、同社取締役財務企画部長、中央大学国際会計研究科特任教授、同志社大学政策学部教授、京都大学大学院経営管理研究部教授などを経る。

16年京都大学を定年退職、名誉教授。19年に現職。現在、日本取引所自主規制法人外部理事などを務める。

専門は投資理論、証券市場分析。

著書に『日本型株式市場の構造変化』、『株式市場のマイクロストラクチャー』(日経・経済図書文化賞)、『「市場」ではなく「企業」を買う株式投資』など。

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講 ※ 受付終了:定員に達しました	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『コーポレート・ガバナンスの進展に伴う取締役会事務局の深化—独立社外取締役の支援という観点から—』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

『コーポレート・ガバナンスの進展に伴う取締役会事務局の深化—独立社外取締役の支援という観点から—』

日時	2020年9月29日(火) 15:00~16:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	富永 誠一 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 事務局長)

### ■ 概要

コーポレートガバナンス・コードが2015年に適用されたことによる最も大きな変化は独立社外取締役が増えたことだと思われます。現在では、東証一部上場会社で「3分の1以上の独立社外取締役を選任する企業の割合」は58.7%にも達しています。

独立社外取締役の数が増え、執行部に対する建設的な提言がなされるとともに、さまざまなガイドラインが公表されたり、グローバルな機関投資家からの要請に応じていくことでコーポレート・ガバナンスの実務はますます高度化しています。そうした変化に対応する存在として、取締役会事務局に注目が集まっています。

本講演会では、取締役会事務局の現状(担当部門や活動内容)、独立社外取締役の支援の内容、CGコードと取締役会事務局の関係、取締役会事務局に関する今後の課題など、2003年の全国社外取締役ネットワーク設立以来、一貫して独立社外取締役のサポートを行ってきた立場から、取締役会事務局の重要性について解説します。(講師より)

※本講演は、旬刊商事法務No.2233(6/15号)に掲載された論文(同テーマ) に沿った内容となります。

<https://www.shojihomu.or.jp/article?articleId=12053817>

### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎富永 誠一(とみなが・せいいち)

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 事務局長

⇒ [略歴はこちら](#)

### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『前例なき変革への挑戦』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『前例なき変革への挑戦』

日時	2020年10月2日(金) 16:00~17:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	磯崎 功典 氏 (キリンホールディングス代表取締役社長)

#### ■ 概要

2015年の社長就任時はドン底からのスタートだった。上場来初の最終赤字、国内事業の低迷、海外事業の不振、そこからどうやって構造改革を進め、V字回復を果たしてきたか。また、社会課題の解決こそが企業の使命であり存在意義だと考え、CSVを経営の根幹に据えてきた。そして、コロナ禍で人々の健康意識が高まる中、新たに立ち上げたヘルスサイエンス事業でどのような取り組みしているか。過去のしがらみにとらわれず、チャレンジしてきたことについてお話をする。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎磯崎 功典(いそざき・よしのり)

キリンホールディングス代表取締役社長

1977年慶應義塾大学経済学部卒業、キリンビール入社。2004年サンミゲル社取締役、2007年キリンビール経営企画部長、2008年キリンホールディングス常務執行役員経営企画部長、2010年同社常務取締役、2012年キリンビール代表取締役社長を経て、2015年から現職。

入社以来、ホテルや海外ビールを始めとした幅広い事業を経験。ビール事業においては、主カブランドの「一番搾り」を中心とした反転攻勢に道筋をつけるとともに、業界に先駆けてクラフトビールへの注力を表明。キリンホールディングス社長に就任後はグループ内事業の再編・再生を主導。2019年には長期経営構想「KV2027」を策定し、将来に向けた成長の柱として「医と食をつなぐヘルスサイエンス事業」を立ち上げファンケル社との提携を開始した。社会的価値と経済的価値を両立させるCSVを経営の根幹に据え、世界のCSV先進企業を目指している。

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『監査役事件簿—勇気と覚悟』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『監査役事件簿—勇気と覚悟』

日時	2020年10月21日(水) 15:00~17:00
聴講形式	<p>今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。</p> <p>①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)</p>
出演者	眞田 宗興 氏 (監査懇話会 顧問)

#### ■ 概要

私が初めて監査役になったのは今から20年前、今の会社は監査役3社目である。2000年頃、私は顧客からのクレーム情報を、監査の一環として閲覧したとき、あるクレームが親会社に報告すべき重要なものではないかと思ったが、それを取締役会で報告したという記憶がない。取締役会には親会社の部長クラスも出席していたのでためらったのか、当時、監査役が取締役会で発言するという雰囲気がなかったためだったのか、理由はともかく、私には、取締役会で監査役として発言するときの「勇気」がなかったということである。

メルシャンの監査役は、循環取引の事実を掴んだが、親会社出身の社長にも、取締役会にも報告しなかった。監査役は報酬返上の処分、メルシャンはキリンの子会社になった。世の中の監査役の方々が、私のような後悔をしないようにこの本を書いた。今回は、事件簿の内、いくつかを厳選して、また新たに関西電力金品受領事件及び天馬社のベトナム税務職員への贈賄事件も紹介したい。(講師より)

【眞田宗興氏著書】

[『監査役事件簿』](#)

※特別頒布価格でご購入いただけるご案内は [こちら](#) 

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎眞田 宗興(さなだ・むねおき)  
監査懇話会 顧問

⇒ [略歴はこちら](#)

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	<p>WebセミナーにはZoomを使用します。</p> <p>企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。</p>
YouTubeを利用した後日聴講	<p>開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。</p>



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME	イベント	ニュース	独立社外取締役導入支援	刊行物	入会案内	CG ネットについて
------	------	------	-------------	-----	------	------------

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『我が国のコーポレート・ガバナンスの課題：金融監督・証券市場監視・監査法人監督・金融分野のDXの経験を通じて』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

『我が国のコーポレート・ガバナンスの課題  
：金融監督・証券市場監視・監査法人監督・金融分野のDXの経験を通じて』

日時	2020年11月9日(月) 16:00～17:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	佐々木 清隆 氏 (元金融庁総合政策局長 一橋大学大学院経営管理研究科客員教授)

### ■ 概要

金融庁勤務時代に、①金融機関の検査監督で金融機関のコーポレートガバナンスを重視したモニタリングを進めた経験、②証券取引等監視委員会で企業不祥事への対応を通じて不祥事の根本原因としてのガバナンスの問題の解明に注力した経験、③公認会計士・監査審査会での監査法人検査を通じて監査法人自体のガバナンスと「監査」をめぐる企業、投資家等の関心の低さを認識した経験、④金融分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)に関してITガバナンス及びデジタル・ガバナンスの重要性を認識した経験等を踏まえ、我が国におけるコーポレート・ガバナンスの課題について議論する。(講師より)

### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎佐々木 清隆(ささき・きよたか)  
元金融庁総合政策局長  
一橋大学大学院経営管理研究科客員教授

1983年東京大学法学部卒、大蔵省(現財務省)入省。金融庁証券取引等監視委員会事務局長、公認会計士・監査審査会事務局長、総括審議官を経て2019年7月に総合政策局長を最後に金融庁を退官するまでの間、20年以上にわたり金融行政に従事。特に、銀行検査監督、証券市場監視、監査法人検査、コーポレートガバナンス、仮想通貨(暗号資産)を含むデジタルライゼーションへの対応等国内外で多岐にわたる専門的な経験を積む。またOECD,IMFに延べ3回10年の勤務のほか金融監督当局の国際的な集まりであるFSB(Financial Stability Board)、バーゼル銀行監督委員会等でも活動。

### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME

イベント

ニュース

独立社外取締役導入支援

刊行物

入会案内

CG ネットについて

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『ソニーの経営とコーポレートガバナンスの進化について』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『ソニーの経営とコーポレートガバナンスの進化について』

日時	2020年11月16日(月) 16:00~17:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講(1週間限定となります)
出演者	神戸 司郎 氏 (ソニー 執行役 専務 法務、コンプライアンス、広報、サステナビリティ、渉外、品質、情報セキュリティ、プライバシー担当)

#### ■ 概要

ソニーは、1970年に日本企業として初めてニューヨーク証券取引所に上場し、以来、様々なコーポレートガバナンスの改革に取り組んできました。最近では、Purpose(存在意義)を経営の中心に据え、環境や社会に対する施策にも積極的に取り組んでいます。神戸氏は、長くソニーの法務、広報部門などを担当し、また最近ではサステナビリティ領域も担当しています。エレクトロニクス事業の会社として始まったソニーが、エンタテインメント、金融と多様な事業ポートフォリオを有する会社に成長する中で、コーポレートガバナンスをどのように進化させてきたのか、また現在のソニーの取締役会および経営陣がガバナンスやサステナビリティをどのように捉えているのかについて、お話致します。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎神戸 司郎(かんべ・しろう)

ソニー 執行役 専務

法務、コンプライアンス、広報、サステナビリティ、渉外、品質、情報セキュリティ、プライバシー担当

1984年にソニー株式会社入社。以降、法務、CEO室、広報などで重要ポストを担い、2010年に業務執行役員に就任。2014年に執行役 EVP、2018年に執行役 常務、2020年より執行役 専務。

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME

イベント

ニュース

独立社外取締役導入支援

刊行物

入会案内

CG ネットについて

[HOME](#) > [イベント](#) > 講演会 > 『2021年への視座－コロナを超えて、日本の針路』

## ○ 講演会

[→イベントトップ](#)

### 『2021年への視座－コロナを超えて、日本の針路』

日時	2020年12月16日(水) 15:00～16:30
聴講形式	今般の感染状況等を踏まえ、本講演会はオンラインのみの聴講といたします。 ①Zoomを利用したオンラインによる聴講 ②YouTubeを利用した後日聴講 (開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します)。
出演者	寺島 実郎 氏 (一般財団法人日本総合研究所 会長、多摩大学学長)

#### ■ 概要

コロナは世界及び日本そして日本企業が抱える課題をあぶり出した。  
我々が今、考えておくべきこと、そして日本が進むべき道、2021年に向けて深く考察し、視界を拡げておきたい。(講師より)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎寺島 実郎(てらしま・じつろう)  
一般財団法人日本総合研究所 会長、多摩大学学長

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。  
米国三井物産ワシントン事務所所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。  
多摩大学学長も務める。  
国交省・スーパー・メガリージョン構想検討会委員、国土審議会計画推進部会委員、経産省・資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員等歴任。

#### ■ 参加形態

参加形態	
Zoomを利用したオンラインによる聴講	WebセミナーにはZoomを使用します。 企業によってはセキュリティの観点によりZoomが使用できない場合がございますので、事前にご確認ください。
YouTubeを利用した後日聴講	開催日から数日経過後に、1週間限定でYouTube配信します。